物流

取材日：2026年7月14日

Umios ロジ株式会社 様

全国31拠点・約800台をデータレス化。
わずか3ヶ月で「仕組みで守る」セキュリティ基盤を構築。

持ち出しPCの情報漏洩対策

umios

https://www.logi.umios.com

業種・形態	低温物流事業 （冷蔵倉庫業・貨物利用運送事業・通関業）
従業員数	938名（2026年4月1日現在）

Umios ロジ株式会社
システム部 システム管理課 課長代理　増井 慎太郎 様
システム部 システム管理課 課長　長澤 英樹 様
システム部 システム管理課 課長代理　太田 力斗 様

導入の目的　IT資産の管理基準統一と、全社規模での強固なセキュリティ基盤の構築

BEFORE

Shadow Desktop 導入のきっかけ

当社は、全国主要都市を中心に31拠点を有し、低温物流に関わる保管から輸配送・通関までを一貫して提供する総合物流サービスを展開しています。私たちが所属するシステム部システム管理課は、IT資産管理や情報セキュリティ体制の整備を担当しており、社内のIT環境の維持・運用を担っています。PCを社外に持ち出す際には、事前に申請書を提出するルールを以前から設けていました。あわせて、PC本体に実データを残さずファイルサーバーやクラウドストレージへ保存するよう、システム部から社内へアナウンスも行っていました。しかし、これらはあくまで利用者の意識に依存する運用ルールにすぎず、情報漏洩リスクを根本的になくすことはできなかったというのが実情です。社内の人事情報や経営・営業情報などについても、社外へ持ち出される可能性に危機感を覚え、「ルール」だけではなく技術的な仕組みで守るセキュリティを取り入れる必要があると強く感じていました。そのような課題感を背景に、端末にデータを残さないデータレスの考え方に着目し、ソリューションの導入検討を始めたのです。Shadow Desktopを知ったきっかけは、当時の担当者が2023年の展示会でアップデータのブースに足を運んだことでした。

Umios ロジ株式会社
システム部 システム管理課 課長代理
太田 力斗 様

Shadow Desktop を選んだ理由

情報漏洩対策としてさまざまな選択肢を検討するなかで、まずはVDI（仮想デスクトップ基盤）環境を利用するという案も浮上しました。しかし、コストや運用面で大きなハードルがあるうえ、常にネットワーク環境に左右されるため、大きな通信障害が起きた時に業務が止まってしまいます。また、利用者側の操作も大きく変わるため、全社的な説明会を実施する必要があるという課題もありました。そうした課題からVDIの導入は見送り、PCに実データを残さない「データレスクライアント」の導入へ舵を切りました。VDIとは別に、複数あるデータレス製品を比較検討するなかで、Shadow Desktopを選んだ理由は大きく3つあります。

裏面へつづく

1つ目は、既存のPC環境でそのまま使えたことです。他社製品とも比較しましたが、当時利用していたメモリ8GBの古いPCではスペックが足りず、動作が重くなる・フリーズするなどの問題が発生しました。その一方で、Shadow Desktopは既存環境でも問題なくスムーズに使うことができました。
2つ目は、機能性の高さや使い勝手の良さです。導入後もファイルアイコンが今まで通り表示されるため、特別な操作は一切必要ありません。ユーザー側が製品の存在を意識せずに使い続けられる仕様は、社内展開を進める上で大きな魅力でした。
3つ目は、当社の運用に合わせて柔軟に設定できたことです。PCへのデータ書き込みを制御する「WriteControl」や、データの保存先を柔軟に設定できる「MyLocation」といった機能が備わっており、細かな設定を調整することができる点も評価しました。

Umios ロジ株式会社
システム部 システム管理課 課長代理
増井 慎太郎 様

AFTER

Shadow Desktop 導入による効果

経営陣からいち早く導入するように指示があり、およそ3ヶ月という短期間で本格的な社内展開を進めました。約800台のPCへのインストールは手動で行いましたが、導入初期はデータ保存に関する例外設定の細かな調整を丁寧に行う必要がありました。従来通りにアプリケーションのデータが保存できないトラブルが起きるたび、リモートで各PCに接続して原因を特定し、個別に書き込みを許可していきました。安定するまでは地道な対応が必要でしたが、管理コンソールが分かりやすく設計されていたこともあり、現在はトラブルもなく安定して稼働しています。最大の効果は、PCにデータを残さないという当初の目的を、技術的な仕組みとして確立できたことです。これまでは「情報漏洩リスクへの対策」を問われた際、「運用ルールや人の意識でカバーしている」としか回答できませんでした。しかし現在は、「データレスを仕組みとして実装している」と胸を張って示せるようになっています。

カスタマーサポートやShadow Desktopへの評価

アップデータのカスタマーサポートはレスポンスが速く、原因特定の難しいトラブルにも粘り強く対応してもらえます。特に印象に残っているのが、社名変更に伴うドメイン変更の際のことです。多数の質問をまとめたQ&A表に対し、わずか2日で丁寧な回答をいただき、大変助けられました。機能要望への対応もスピーディーで、こうした迅速かつ丁寧な対応の積み重ねが、安心感につながっています。Shadow Desktopの管理画面は直感的に操作でき、マニュアルを見ればスムーズに設定が可能です。他社サービスで迷いがちな設定項目も、日本語で丁寧に説明されているため戸惑うこともありません。初期設定さえ終われば運用負荷は非常に低く、日常的な管理工数も大幅に削減されています。利用者側も導入直後は多少の戸惑いがあったものの、現在は問題なく使えています。また、PCのリプレースの際にも、データ移行の手間が省ける点は大きなメリットだと考えています。今後、実際にリプレースが発生した際には、システム部門とユーザー双方の負担軽減につながることを期待しています。

今後の展望

Shadow Desktopのおかげで「ルール」に頼らず技術的にPCにデータを残さない仕組みを実現できたため、今後は予防策の構築に注力したいと考えています。昨今はランサムウェア等の被害が後を絶たないなか、Shadow Desktopから得られる運用ログを活用して想定外のファイル操作などを分析し、問題発生前に異常に気付くことができる環境を構築したいと思います。情報漏洩対策を支える基盤として他のセキュリティソフトとも連携し、不審な時間帯や場所での起動を事前に検知できる仕組みを目指していきたいと考えています。セキュリティ対策は、予算をかければ堅牢な仕組みを作れますが、自社でゼロから構築・運用するのは容易ではありません。だからこそ、実績のある完成された製品を賢く活用し、費用対効果のバランスをとることが重要です。また、このようなセキュリティソフト導入の検討を通して、自社でも気付かなかった「隠れた課題」を発見できるメリットもあります。情報漏洩対策に悩む企業様なら、まずは検討や相談をしてみるだけでも、十分に大きな価値があると考えています。

アップデータ株式会社
〒104-0031 東京都中央区京橋 1-17-10 京橋 One Terrace 3F
03-6853-7800
sales@updata.co.jp